

厳しい財政下での新庁舎整備 仮設の建物建設しない計画基本に

議員 本市の市役所新庁舎建設、平塚市民病院南棟建て替えなどの大型事業は、この数年間で進める計画となっている。二十一年度当初予算で新庁舎建設事業費として委託料など二億五〇〇万円が計上されているが、その内容を聞きたい。

企画部長 二十一年度は、継続費として設定した新



庁舎建設設計委託と併せ、建築設計の前提条件となる敷地形状を確定するために必要な平塚市役所前交差点などの道路改良設計、および建築設計・道路設計に必要な測量業務として周辺道路改良測量設計委託料等を計上している。また来庁者が利用しやすい駐車場計画や交差点改良計画の策定に必要となる、自動車発生集中量に関する将来予測による交差点解析などを行う交通計画調査委託料を計上している。

安全で円滑な交通体系を実現 21年度中に総合交通計画策定へ

議員 昨今の厳しい財政状況の中、限りある事業費の中でどのように新庁舎の整備を進めていく考えなのか。

総務部長 建設費用は建築工事費、外構工事費、解体工事費および建築設

議員 二十一年度の当初予算に総合交通計画策定事業が計上されているが、その内容を聞きたい。

まちづくり政策部長 この事業は都市交通の動向とバス、自動車および自転車の利用実態の分析に

基づき、将来想定される交通課題を検討し、その解決に向けた交通計画の基本方針として、公共交通網と自転車利用環境、幹線道路ネットワーク、中心市街地の交通の整備方針を定めるものである。

議員 平成二十年十月に本市のまちづくりの指針である第二次平塚市都市マスタープランが策定されたが、総合交通計画はどのような位置づけにあるのか。

まちづくり政策部長 第

基本設計を完了させ、引き続き実施設計に取り組み、二十二年度に総合評価方式により工事施工者の選定を行う。二十三年度に建設工事に着手し、二十四年度の一部供用開始を目指す計画である。

のうち約九五億円を企業債、約一二億円を病院の自己資金で賄うこととしている。

議員 危機的経済状況の中、大型事業については現在、実施時期を変更した場合の全体の財政状況などを試算していると聞

市民病院南棟建設資金の内訳

議員 平塚市民病院南棟の建て替え計画が進められているが、この建設費の資金計画を聞きたい。

市長・総務部長 現時点では総事業費を約一〇七億円と見込んでおり、そ

おり進めていきたいと考えるが、今後の社会経済情勢などの推移を見守り最終的な判断を下していきたい。

土屋・吉沢地区 農業集落排水事業 供用開始の時期は

議員 土屋・吉沢地区の農業集落排水区域内において衛生的な生活環境を

向上させるため、農業集落排水事業を実施しているがこれまでの進捗よく状況を聞きたい。

土木部長 土屋地区は十八年度から管路の築造工事に、二十年度から汚水処理施設の建設工事に着手している。また吉沢地区は十九年度から管路の築造工事に着手しており、二十年度末時点の管路整備率は土屋地区が三三％、吉沢地区は四一％となる見込みである。

議員 これら二地区の供用開始時期を伺いたい。

土木部長 土屋地区は二十一年度末に汚水処理施設の整備が完了する見込みであるため、平成二十二年五月に供用開始を予定である。また吉沢地区については、汚水処理施設の土地取得が遅れているため、施設の建設開始時期を二十二年と見込み、二十四年度の供用開始を予定している。

個人負担額が不明確加入に不安な住民も

議員 両地区の供用開始に向け今後条例や規則等が制定されると思うが、住民には負担金や使用料内工事にかかる費用を含めた概算の総負担額に近づけるよう地元事業推進協議会と協議を重ねている。今後も引き続き利用者が不公平感を抱くことのないよう調整し、使用料等を定める条例を平成二十一年九月定例会に上程していきたい。

駅西口地区の整備 順序は変えず東地から

議員 平塚駅周辺の自転車問題について、市長は施政方針で「長年の懸案

事項である平塚駅周辺の自転車駐輪場整備に向けた課題の解決に努める」と述べたが、この課題をどう認識しているのか。

市長 実効性が高い計画となるよう庁内で検討し、議会、関係団体、市民等に内容を示し理解を得ることが必要と認識している。また厳しい財政状況の中、財源の確保が重要と考える。

議員 西口東地自転車・バイク駐車場が建設されなかったことにより、西

口地区全体の整備が遅れることになるが、現行の東地、西地、中地の整備順位に変更はないのか。

市長 西口地区の整備は、東地、西地に駐輪場を、中地に民間複合ビルなどを建設する計画としてすでに示している。現在の駐輪場の利用状況を見ると東地、西地、中地の順に整備していくことが不可欠だと考え、整備順位に変更はない。

議員 現在施工中の平塚駅前広場のバリアフリー

化工事の完了後は、駅前地下道の歩行者が減少するものと考え、財政状況を考慮すれば、この既存の地下道を活用すべきではないのか。

市長・市民部長 駅前広場の地下へ駐輪場を設置するには、構造等の改修とともに、歩行者への十分な安全対策を講じなければならぬ。それには、地下地盤の切り下げ等の大幅な改修工事が必要であるため現在活用を検討する考えはない。

議員 総合交通計画策定事業を実施するに当たり、本市での自転車利用に対する認識を伺いたい。

まちづくり政策部長 本市は平たんな地形が多いことなどから、自転車の利用率は神奈川県内自治体平均の一・八倍であり手軽な交通手段として親

議員 総合交通計画策定に策定した市営住宅管理計画の見直しが必要と考えるが、今後どのように検討していくのか。

まちづくり政策部長 市営住宅管理計画は策定から一〇年が経過し、市営住宅を取り巻く社会情勢は大幅に変化している。また平成二十一年三月に策定予定の「平塚市営住

議員 本市の市営住宅は多額の運営管理費など多くの課題を抱えている。社会情勢等の変化などに対応するには、平成十年に策定した市営住宅管理計画の見直しが必要と考える。

議員 管理計画の見直しに当たり、今後どのように検討していくのか。

まちづくり政策部長 国土交通省が五年ごとに実施している「住生活総合調査」の結果が二十一年度末に公表されるため、その結果を踏まえ検討し

ていきたい。

議員 ストック総合活用計画(改訂版)には、二十二年から管理運営に関し民間活力の導入を目指すところだが、市営住宅入居者へのサービスの維持、向上は可能なのか。

まちづくり政策部長 民間の専門的な管理運営手法の活用により、施設の長寿命化や迅速な修繕が可能となり、市民サービスが向上すると見込んでいる。今後二十二年中の指定管理者制度の導入に向けサービス向上に重点を置き、委託事業の内容を精査していきたい。



西口東地の自転車・バイク駐車場建設予定地